

## 参考資料

### ボランティアコーディネーターについての定義 (ボランティアコーディネーションの機能・役割についての記述を含む)

#### ■東京ボランティア・センター「ボランティア・コーディネーター研修体系とその考え方」(平成8年3月)

ボランティアコーディネーターとは、生命、平和、人権が尊重され、個々人が自己実現や生きがいを追求できるような多様で豊かな市民社会を市民たち自身の手でつくっていく活動(ボランティア活動)を支援する専門職であり、その役割は、社会の課題やニーズを把握し、それを解決するために、当事者とボランティアと社会的資源をつなげ、「共に生きる」という哲学の中での協働の取り組みを支援していくことである。

#### ■全国社会福祉協議会

「ボランティアコーディネーター」とは、ボランティア活動を推進する中核的機関(ボランティアセンター等)、団体(住民参加団体、社会教育施設、企業社会貢献推進室、学校等)、社会福祉施設において、ボランティア活動推進のための企画、情報収集・提供、相談・支援、研修、調査研究、連絡調整、活動プログラム開発などを総合的に行う専門職

#### ■全国社会福祉協議会「被災者中心の災害ボランティアセンターとするために」(平成18年3月)

災害ボランティアセンターにおいては、コーディネーターの役割として、ボランティア活動したい人とボランティアの支援を受けたい人のマッチングや、ニーズに即したプログラムを企画する、情報提供を行なう、といった、通常時のボランティアコーディネーションと共通する役割・機能ももちろん含まれますが、それ以上に、センターにかかわるさまざまな機関や組織・人材等との交渉・連絡調整、センター全体の運営状況を把握して、先を見据えた動きをする、あるいは、地元の活動と外部からの支援をつなぎながら、中・長期的に被災者支援の展望を考える、といった機能が重要になります。

#### ■全国社会福祉協議会「大学ボランティアセンターガイド」(平成17年6月)

ボランティアコーディネーションの機能・役割を一言で言うなら、「ボランティア活動に関する“援助ニーズ”と“活動ニーズ”とを橋渡しし、効果的に結びつけること」です。大学ボランティアセンターにおいてもこの点に変わりはなく、活動フィールドからの要請・援助ニーズと学生の活動ニーズとを適切にマッチングし、支えていくことです。

■東京YMCA「ボランティアコーディネーター養成講座」（2002年3月）

企業におけるボランティアコーディネーターの役割：会社の社会貢献の目的を遂行し、社員の社会参加を支援するため、社内の資源を活用し、制度、情報提供、プログラムを作り、NPOと協働で推進し、社内に社会貢献の気風とボランティア活動を広めていくこと（青木利元氏）

■Vnet 社会教育施設ボランティア交流会「生涯学習ボランティアコーディネーター養成講座」（平成10年）

ボランティアコーディネーターとは、価値の領域（自然をどのようにとらえるか、どのような社会の実現をめざすのか、人間の生き方をどのように考えるのか）、関係の領域（個人と個人のかかわりのあり方、個人とグループ・団体の関係、グループ・団体の社会における位置づけ）、時間の領域（過去の視点からの現在、通過点としての現在、未来の視点からの現在）のように分解できる。

コーディネーターの役割は、①結び合いと出会い（関心や興味との結び合い、初めての機会との結び合い、新しい人との出会い）、②行動のモデルとして（プレイヤー、モチベーター、ディレクター）、③チェンジエージェント（状況把握、多選択肢、行動試行）（以上、吉永宏氏）

■Vnet 社会教育施設ボランティア交流会

ボランティアコーディネーターの資質・条件としてもっとも重要と思われるのは“豊かな感性”であるにとらえ、基本理念とした。豊かな感性の中には、人権意識、やさしさ、思いやりなどが含まれる。①感性＋（②コーディネーター力＋③社会観＋④ボランティア観＋⑤スキル・ノウハウ）

■現代社会福祉辞典（有斐閣：2003）

市民のボランティア活動を支援し、その実際の活動においてボランティアならではの力が発揮できるよう、市民が課題や活動、組織と出会うことを支援したり、組織内でサービス利用者や有給職員との調整を行なう専門職。特に、立場の異なる人々（組織）が対等の立場で出会い、協働することが可能となるよう支援することを重視する。

■日本ボランティアコーディネーター協会リーフレット

市民社会の実現をめざして、市民のボランティア活動を支援し、その実際の活動においてボランティアならではの力が発揮できるよう市民と市民または組織をつないだり、組織内での調整を行うスタッフ

加工整理：後藤麻理子